

「科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会 第 18 回講演・研究会」

- 【日 時】 2020 年 7 月 13 日(月)
開場 14:00 講演・研究会 14:30-16:20 懇親会 16:45-
- 【場 所】 〒162-0824 東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂 MNビル1階
インテリジェントロビー・ルコ
(JR 飯田橋駅 徒歩3分/地下鉄飯田橋駅 B4b 出口 徒歩 1 分)
- 【参加費】 講演会: 個人維持会員:3,000 円 法人維持会員:無料(1社あたり 3 名まで)
非会員:5,000 円、学生:無料、社員:2,000 円
懇親会: 4,000 円
- 【定 員】 24名(先着順)

【プログラム】

14:00 開場

14:30~14:40 ご挨拶

14:40~15:20 感染症検査の開発

伊藤 悦朗 氏

早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授

新型コロナウイルス感染症の検査にあたり、PCR 検査の重要性が指摘されている。

もちろん、PCR 検査が簡単にどこのクリニックでも、あっという間にできるのであればそれで良いのだが、なかなかそうはいかず、結果、簡単な抗原検査の出現が望まれている。しかし、抗原検査は「早い、安い」は実現できるものの「うまい(=検出感度が良い)」は実現できないままである。そこで、我々は「早い、安い、うまい(=検出感度が良い)」を実現するための方法を開発しているので、ご紹介する。

15:20~15:40 休憩

15:40~16:20 科学的な根拠に基づく塩素系殺菌剤の特性

河野 雅弘

NPO科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会 理事長

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染症が爆発的なスピードで世界中に蔓延しています。塩素系酸化合物は微生物の消毒剤として多くの機能を備えています。特に、次亜塩素酸化合物は強アルカリから強酸までの幅広い pH 領域で殺菌特性を示すため、コロナウイルスやノロウイルスに対する感染症予防と、大腸菌やリステリア菌、サルモネラ菌による食中毒予防に有効とされています。しかしながら、次亜塩素酸化合物が微生物を殺菌する機構の詳細は未だ明らかにされていません。ここでは、酸性次亜塩素酸水の構造と機能について解説します。

16:45~ 懇親会

新型コロナウイルス感染予防の観点から以下の対策を行います。マスク着用と手指の消毒等、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ※1 講演・研究会については、座席の間隔を十分に確保するために、定員を 24 名とさせていただきます。お早めにお申込みをお願いします。
- ※2 講演と講演の間に会場の換気を行うため、また、所属先の規定で懇親会に参加いただけない方がいることから、個別の質疑時間を確保するために、講演を 2 件とし長めの休憩時間をとっております。
- ※3 懇親会は従来は立食ビュッフェで開催していましたが、着席個食でのご用意を予定しております。